

カナダ サイエンス ニュース

2003年 第5号

カナダ・サイエンス・ニュース第5号をお届けします。本号では、2002年度のカナダの科学技術に関するレポートの発表、新しい研究イニシアチブや研究助成、天文学や医学分野等の研究成果、科学関連イベントなどの最新情報をお伝えします。ご質問・ご意見は、カナダ大使館投資・科学技術部までお送りください。（Eメールアドレス：katsuko.kuroiwa@dfait-maeci.gc.ca）

科学技術政策ニュース

カナダ産業省、科学技術に関する報告書発表

（2003年 5月 28日）カナダ産業省は「科学技術に関する提言：将来の枠組み（Science and Technology Advice: A Framework to Build On）」と題する2002年度の科学技術に関するレポートを発表した。このレポートは、科学技術政策、および科学技術に関わる規制やマネジメント方法等の決定を適切に行うための指標となる。同時に、科学技術関連の統計資料を簡略に掲載した科学技術データブックも発表された。

記事全文（英語）：<http://www.ic.gc.ca/cmb/welcomeic.nsf/261ce500dfcd7259852564820068dc6d/85256a5d006b972085256d340046e3ed!OpenDocument>

レポート全文（英語）：http://www.nrc-cnrc.gc.ca/~indcan/s+t/5rpt/index_e.html

カナダ保健研究機構（CIHR） 新型肺炎SARS関連研究を開始

（2003年 6月 10日）13の研究所から構成されるカナダの国立研究機関であるカナダ保健研究機構（Canadian Institutes of Health Research--CIHR）は、2003年6月10日、新型肺炎SARSの原因、予防法や公衆衛生システムの管理を研究するプロジェクトを開始すると発表した。同プロジェクトは、研究チームに対して100万カナダドル（約8200万円）の助成を行う。研究テーマは、SARSの伝染形態、診断法、治療法、さらにSARSや同様の疫病によって起こる社会的・倫理的・心理的・経済的な影響の分析・研究である。このプロジェクトのねらいは、今年前半のカナダでのSARS発生時の経験を生かし、将来のSARSの再発及び他の伝染性の高い病気の流行に備えて行くものである。CIHR人口・公衆衛生研究所所長のジョン・フランク（John Frank）博士は、「保健機関が協力して科学的証明に基づいた治療、効率的な伝染病の抑制と管理等を行っていく必要がある。」とし、CIHR保健サービス・政策研究所の科学担当ディレクターのモリス・バレー（Morris Barer）博士も、「このSARSの経験から学んだ上で、長期的な視野に立ち、医療スタッフの補充法、訓練や、病院のキャパシティ、隔離技術等、医療体制の整備を強化していくべきだ。」との見解を示した。

記事全文（英語）：<http://www.cihr-irsc.gc.ca/e/institutes/icrh/16002.shtml>

カナダ国立研究機構（NRC）天文学協定に調印

（2003年 6月 16日）カナダ国立研究機構（NRC）は、電波天文学に関するカナダ-US北米協定に調印した。この協定によりカナダは、アメリカ合衆国にある各電波天文学施設を利用することが可能となり、国際共同研究においてより大きな役割を果たすことが期待される。

記事全文（英語）：http://www.nrc-cnrc.gc.ca/newsroom/news/canus03_e.html

カナダ国立研究機構（NRC）フランスとの提携を強化

（2003年 5月 22日）カナダ国立研究機構（NRC）はフランスの国立調査研究開発機関（Agence nationale de valorisation de la recherche）との科学技術関連の共同研究に関わる行動計画に調印した。この行動計画の中で、カナダとフランスの中小企業間の技術関連ミッション3件と共同プロジェクト10件が提案されている。

記事全文（英語）：http://www.nrc-cnrc.gc.ca/newsroom/news/anvar03_e.html



研究助成・新研究プロジェクト

研究インフラにCFI が助成

(2003年 6月 18日) カナダ技術革新基金 (Canada Foundation for Innovation -- CFI) では、同基金の傘下である新機会創出ファンドのプロジェクトとして、カナダ国内の46大学から、282名の教授・助教授を新たに迎えるため、併せて4350万カナダドル (約36億6620万円) の助成を行うことを発表した。カナダ技術革新基金のファンドは、基本的に研究用インフラストラクチャの整備に充てられるものであるため、この助成金は、新たに任命された教授・助教授に、最先端の研究環境を提供するために使われる。この助成により、カナダは世界中から優秀な研究者を集めることが可能となる。

記事全文 (英語) : <http://www.innovation.ca/media/index.cfm?websiteid=275>

カナダ宇宙庁 (Canadian Space Agency) 宇宙からの地球観測を支援

(2003年 6月 12日) カナダ宇宙庁 (Canadian Space Agency - CSA) はカナダ企業9社と宇宙からの地球観測とその応用法の開発に関する契約を結んだ。全部で12件の契約に対し、CSAの地球観測・応用開発計画 (EOADP) (Earth Observation Application Development Program) を通じて300万カナダドル (約2億5280万円) を上まわる資金が助成される。カナダ宇宙庁を管轄するカナダ産業省大臣アラン・ロックは、「このプロジェクトによりカナダ宇宙庁は、地球観測分野でのカナダの専門性の高い優れた知識を蓄積することになり、これらの企業の熱意と技術革新を一層促進していくことで、カナダは力強いダイナミックな知識基盤に基づく経済を強化できる。」と期待感を表明する。

記事全文 (英語) : http://www.space.gc.ca/asc/eng/media/press_room/news_releases/2003/030612.asp

ダルハウジー大学 幹細胞研究を開始

(2003年 6月 11日) ダルハウジー大学の研究者らは、国家チームの一員として、脳卒中とパーキンソン病に関する2種の幹細胞研究プロジェクトに対し、研究コンソーシアムの肝細胞ネットワークから120万カナダドル (約1億110万円) の助成を受けた。助成を受けた研究チームは、パーキンソン病患者の傷ついた神経の修復のため幹細胞を使った治療法の研究を行う。脳卒中プロジェクトについては、脳の自然な修復機能について探求する。また、これらのプロジェクトの中には、幹細胞研究に関わる倫理的問題も課題として含まれている。

記事全文 : (英語) <http://www.dal.ca/~dalnews/dalnews/2003-06/stemcells.shtml>

カナダ政府 水素燃料電池を後援

(2003年 6月 8日) カナダ天然資源省 (Natural Resources Canada-- NRCan) およびカナダ産業省は、新水素燃料技術開発のため1410万カナダドル (約11億8840万円) の助成を発表した。この助成は3分野のプロジェクトが対象となる。水素燃料の圧縮および調合システム、10キロワット燃料電池のエネ르기一測定基準、カナダにおける最初の燃料電池搭載車の公開実験等で、これら技術は未来を拓く水素経済発展のために不可欠である。

記事全文 (英語) : http://www.nrcan-rncan.gc.ca/media/newsreleases/2003/200338_e.htm

カナダ宇宙庁がMD Robotics社と契約

(2003年 6月 3日) カナダ宇宙庁はMacDonald Dettwiler Space and Advanced Robotics 社 (MD Robotics) と、新多機能ロボットのテストおよび完成、ソフトウェアの保守、技術サービス等に関する4年契約の締結を発表した。総額1億1600万カナダドル (約97億7650万円) をかけるこの協力関係によって、カナダは宇宙ロボット工学分野における先導的地位を堅持することができる。

記事全文 (英語) : http://www.space.gc.ca/asc/eng/media/press_room/news_releases/2003/030603.asp

カナダ自然科学工学研究機構 (NSERC) 新たな発明・発見を助成

(2003年 6月 2日) カナダ自然科学工学研究機構 (Natural Sciences and Engineering Research Council - NSERC) では、カナダ国内の67大学の教授に対し、2752におよぶ発明・発見助成金の創設を発表した。期間は5年以上で、総額3億2500万カナダドル (約273億9100万円) の助成金は、カナダ国内の化学、生命科学、物質科学、数学、土木工学分野の研究に対する主要な支援となる。

記事全文 (英語) : <http://www.nserc.ca/news/2003/p030602.htm>

カナダ国立研究機構 (NRC) 天文学研究に5000万カナダドル

(2003年 6月 2日) カナダ国立研究機構(NRC)は、今後5年間の天文学および宇宙物理学の研究計画への助成金を増加すると発表。長期計画に5000万カナダドル(約42億1420万円)を投資することにより、NRCはアメリカ合衆国の国立科学財団(NSF)との共同事業協定を締結する。

記事全文(英語) : http://www.nrc-cnrc.gc.ca/newsroom/news/lrp_waterloo03_e.html

バイオインフォマティクスのトレーニング・プログラム施設開設

(2003年 5月 20日) カナダ産業省とカナダ国立研究機構(NRC)は130万カナダドル(約1億960万円)のバイオインフォマティクス施設をブリティッシュ・コロンビア技術機構(British Columbia Institute of Technology)に開設した。これにともない、カナダ・バイオインフォマティクス資源産業サービス(Canadian Bioinformatics Resource Industry Service)では1年間の実験的プロジェクトを導入する。同プロジェクトでは、専門家を常駐させ、バイオ技術関連中小企業の相談に応じると同時にバイオインフォマティクスのトレーニングを行う。

記事全文(英語) : http://www.nrc-cnrc.gc.ca/newsroom/news/cbri-launch03_e.html

NRC産業物質材料研究所「スーパーマテリアル」の開発

(2003年 5月 13日) カナダ国立研究機構の産業物質材料研究所(National Research Council - Industrial Materials Institute)では、プラスチックの「スーパーマテリアル」製造を目的とするPNC-Techを創立し、共同研究を開始した。この共同研究はNRCと主要13社が行い、重合体のナノ合成物開発を目指している。この第一歩としてPNC-Techでは年間30万カナダドル(約2530万円)を投資することとし、同プロジェクトは、カナダで最初の、また世界でも初の試みの一つである、ナノ合成物開発のための先端的な共同研究開発となる。

記事全文(英語) : http://www.nrc-cnrc.gc.ca/newsroom/news/imitech03_e.html

研究・技術開発ニュース

モントリオール神経科学研究病院、脳の新治療法を開発

(2003年 6月 10日) モントリオール神経科学研究病院(Montreal Neurological Institute and Hospital)の医師は、Matrix©コイルを用いて脳の動脈瘤を治療する新技術を活用している。同研究病院は、血塊の形成を防ぎ動脈瘤をシールすべく考案されたこの治療法を行うために選ばれた3つのカナダ研究センターの1つである。2人の患者が、動脈瘤の安定度を高め病巣のより早い治癒を促すこの新治療法を受けている。

記事全文(英語) : http://www.muhc.ca/media/news/2003/06_18_cza/

カナダ企業が権威ある水産技術の国際賞を受賞

(2003年 6月 4日) ZENON Environmental Inc. 社が2003年ストックホルム治水産業賞(2003 Stockholm Industry Water Award)に選ばれた。水資源開発への継続的貢献が認められたもの。特に、低エネルギーの真空圧力で働くZENON社独自の細胞膜構想—身体の細胞膜に似たものと特許のZeeWeed技術とを組み合わせ、従来の水処理法では不可能とされていた病原体微生物の除去に成功した点が評価された。

記事全文(英語) : <http://www.zenonenv.com/investor/news/june0403.shtml>

ブリティッシュ・コロンビア大学天文学者らが木星に新たに9衛星を発見

(2003年 6月 3日) ブリティッシュ・コロンビア大学の天文学者が木星軌道の上に9個の新惑星を発見した。木星は太陽系惑星中でもっとも多い計61個の衛星を持つことが明らかになった。この新衛星はハワイに設置された新しいMegaprimeカメラが捉えたもの。

記事全文(英語) : <http://www.publicaffairs.ubc.ca/media/releases/2003/mr-03-55.html>

アルバータ大学 エコ・カーコンテストに参加

(2003年 5月 20日) アルバータ大学はアメリカ合衆国エネルギー省(United States Department of Energy)がスポンサーとなっているコンテスト、FutureTruck 2003への参加を発表。FutureTruck 2003は、パワー、安全性、価格を犠牲にすることなくフォード社SUV、Ford Explorerののエネルギー効率を25%

以上改善し、環境により優しく再設計するコンペである。アルバータ大のチームは、アメリカの14チームと対決する唯一のカナダチームである。

記事全文（英語）：http://www.nrcan-rncan.gc.ca/media/newsreleases/2003/200333_e.htm

人 ひと

新科学技術参事官が東京 カナダ大使館に着任

カナダ外務貿易省は、新科学技術参事官としてエリザベス・テリオ博士（Dr. Elizabeth Theriault）の任命を発表した。テリオ博士は前参事官フィリップ・ヒックス氏の後任として、8月中旬に東京に着任した。テリオ博士は、世界的なレベルのコンピューター・アニメーションとバーチャル・リアリティの研究開発で知られるシェリダン・カレッジ（Sheridan College）の科学技術学部長（Dean of the School of Science and Technology）を務めていた。それ以前はトロント大学で神経科学分野の研究に携わり、主として背骨索状組織損傷の研究を行っていた。テリオ博士にとって今回の赴任は二度目の来日で、最初の来日時は東京医科歯科大学で2年間神経生理学を学んだ。テリオ博士は日本での活動の抱負として、医学と科学の専門知識と、さらに学部長として身につけた企業との協力等の経験を生かして、カナダと日本の共同研究を促進し、両国の経済的協力基盤を拡大していきたいと話している。

メールアドレス：elizabeth.theriault@dfait-maeci.gc.ca

Genome Canada 新たに研究担当VPを任命

（2003年 6月 3日）カナダのゲノム研究のコンソーシアム、ゲノム・カナダ（Genome Canada）では2003年7月1日付けで、アレックス・マッケンジー博士（Dr. Alex Mackenzie）を研究担当副理事長に任命した。Dr. Mackenzieは主として農業、環境、漁業、林業、健康および新技術開発の分野で、大学、産業界および政府関連科学者間の連絡・調整業務を担当する。

クイーンズ大学の研究者が会長に

（2003年 6月 4日）クイーンズ大学の生物学者、バージニア・ウォーカー博士（Dr. Virginia Walker）がカナダ遺伝学会の会長に選ばれた。遺伝学及び微生物学での功績で知られるウォーカー博士は、カナダの遺伝学の発展と調整のために、遺伝学者間の連携促進をはかる。

サイエンス・イベント

バイオコンタクト（Bio Contact）

2003年10月1—3日 ケベック州 ケベックシティ

<http://www.biocontact.qc.ca/>

バイオノース（Bio North）

2003年11月17—18日 オンタリオ州 オタワ

<http://www.bionorth.ca/>